

全体	12
個別	03-01

令和元年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

区分	項目	観光客の受入態勢の整備
1	【内容】 「国境サイクリングIN対馬」を開催し、国内外のサイクリストの方々に、対馬の豊かな自然や独自の風土を体感していただくことで、新たな観光資源の発掘と人口交流の創造を図ります。 また、利用者の利便性向上を図るため、観光施設等のトイレの洋式化を実施します。 【指標】 ◆国境サイクリングIN対馬 参加者120名 ◆トイレの洋式化 5箇所	<p>組織目標</p> <p>実績（成果）</p> <p>評価</p> <p>今後の展開</p>
2	◆国境サイクリングIN対馬 令和元年10月19日開催し、111名のエントリーがありました。 ◆トイレの洋式化 島内6施設で11カ所の洋式化を図りました。	
3	△ トイレの洋式化は目標を上回る設置が行えたものの、サイクリングイベントは、SNSによる情報発信が十分でなかったため目標を達成することが出来ませんでした。	
4	トイレの洋式化は、必要に応じた対応を実施します。また、サイクリングイベントは、情報発信のみの取組みから、SNS広告を活用した新たな手法で新規参加者及びリピーターの獲得を目指します。	

全体	13
個別	03-02

令和元年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

区分	項目	地場製品の更なる消費拡大への取組み
1	組織目標	<p>【内容】 観光物産展等の開催やイベントへの出展、福岡事務所や対馬観光物産協会と連携し、対馬の認知度向上、特産品の販路拡大及び対馬産品取扱店舗拡大に取り組みます。 情報発信の拠点として「よりあい処つしま」を活用し、対馬特産品のPR、集客・誘客、販路拡大を図ります。 「海山交流」を行っている地域と、物産・人・情報交流事業に取り組みます。</p> <p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展売上額 11,000千円 ・対馬食材を使用したフェアを開催 5会場
2	実績（成果）	<p>福岡県内、大阪などで物産展を行い、売上合計は9,000千円でした。 「よりあい処つしま」として、RKBラジオまつりに出展し、あなご弁当をメインに特産品の販売を行い好評を得ました。 鳥栖市のイベントとコラボして、対馬食材フェアや物産展を実施し販路拡大を図りました。また、熊本県山江村、岐阜県中津川市と物、人の交流を実施することができました。</p>
3	評価	<p>△</p> <p>物産展売上額は目標額に達しなかったものの、各会場で販売と併せ、特産品のPRを行うことで地名度の向上に繋がりました。また、海山交流を行うことで、魅力の再認識が行うことができ、今後の特産品の販売におけるネットワークが構築されました。</p>
4	今後の展開	<p>都市圏で物産展等を開催（出展）することで対馬の特産品の認知度向上を図るとともに販路拡大を行います。 よりあい処つしまの移転を転機として、取扱商品の充実と新たな販路拡大に取り組みます。</p>

全体	14
個別	03-03

令和元年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名	観光商工課
----	-------

区分	項目	地場製品の更なる消費拡大への取組み
1	【内容】 国内の景気動向は緩やかな上昇傾向から悪化に転じ、10月からは消費税の増税、さらに対馬において前例がないような人手不足に陥っています。国の対抗措置同様、対馬市もキャッシュレス決済の推進による消費拡大や生産性向上による増益策を図り、市内産業の振興を図ります。 誘致企業のホテルオープンに向けての雇用・運営についてのフォローアップを行い雇用の安定化と関連産業の振興を図ります。また雇用創出型の企業誘致では市内の人手不足を加速・流動化を超えた不安定化が進むため、対馬市の課題解決を図る事業者が、人員を含めた事業所の誘致が進むよう検討します。 【指標】 ・キャッシュレス推進事業補助金 採択件数 5件 ・対馬市商工会との市内経済振興協議 年10回 ・課題解決型企業誘致の推進策定 1件	
2	実績（成果）	キャッシュレス推進事業補助金 採択件数 0件（活用需要がなかったため） 対馬市商工会との市内経済振興協議 年15回 課題解決型企業誘致の推進策定 0件
3	評価	△ 国等のキャッシュレス補助制度もあり市の事業の活用までには至りませんでした。 商工会と商工業の活性化等については、経済振興の協議ができました。
4	今後の展開	引き続き商工振興については、対馬市商工会との協議の中で進め、ソフト事業の支援など研究を行い、効果的な振興策を検討していきたいと考えています。

全体	15
個別	03-04

令和元年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名	文化交流・自然共生課
----	------------

区分	項目	国際交流イベントや朝鮮通信使行列の世界記憶遺産登録を活用した交流人口拡大
1	【内容】	<ul style="list-style-type: none"> ①対馬厳原港まつりにおける朝鮮通信使行列の再現、対馬アートファンタジアの開催支援を行い交流人口の拡大を行います。 ②日本遺産史跡解説のための看板を設置します。 ③旅行社（者）へのマナー向上、ルール遵守を徹底させ、市民の理解の促進を図ります。 ④朝鮮通信使を活用したまちづくり事業（施設整備等）を実施します。
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数 300人 ・日本遺産PR用看板等設置 4か所 ・添乗員、ガイド研修実施 25人 ・朝鮮通信使によるまちづくり事業 （通信使キャラクターグッズ作成、案内板設置、歴史マンガ、島内PR事業、トラックラッピング） ・朝鮮通信使行列に係る資料館建設事業の着手
2	実績（成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮通信使行列再現への参加者数：257人 ・日本遺産解説のためのPR掲示物の制作：4基 ・添乗員、ガイド研修実施 日韓情勢悪化により未実施 ・朝鮮通信使によるまちづくり事業 （普及啓発用付箋紙作製(1,500冊)、タンブラー作製(120個)、歴史マンガ作製(最後の朝鮮通信使-易地聘礼-)、歴史講座年6回延べ200名、案内板設置(5基) ※佐須奈地区における朝鮮通信使イベントについては、COVID-19の感染拡大防止のため見送りとしました。 ・ユネスコ記憶遺産登録PR事業 輸送用トラックラッピング：2台 ・朝鮮通信使行列に係る資料館建設事業の設計業務完了
3	評価	<p style="text-align: center;">△</p> <p>増加の一途をたどっていた韓国人観光客数が、本年度については日韓情勢の悪化による非常に大幅な観光客の減少（8月以降の韓国人観光客数8割以上の減）及び、年始以降世界に拡散の兆しを見せていたCOVID-19の影響による観光客の壊滅的減少が起きました。（比田勝～釜山間航路も3月より全面運休）</p> <p>日韓情勢の悪化の影響を受けて8月の港まつり時に予定していた朝鮮通信使船復元船の対馬來航の中止、韓国側からの来賓の減少がみられました。また、COVID-19の影響により佐須奈での朝鮮通信使PRイベントも中止となりました。</p> <p>看板設置4基が令和2年度に繰り越しとなりました。 その他の事業は概ね予定どおり実施しました。</p>
4	今後の展開	<p>世界記憶遺産登録を活かしたまちづくり、「朝鮮通信使と言え、対馬」のキャッチフレーズを基に朝鮮通信使によるまちづくり事業を推進いたします。</p>

全体	16
個別	03-05

令和元年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名	文化交流・自然共生課
----	------------

区分	項目	ツシマヤマネコ・生物多様性保全活動の推進
1	【内容】	ツシマヤマネコ等希少種の保護・啓発活動を実施します。また、特定外来生物の市民参加型防除活動、調査を行います。
組織目標	【指標】	<ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1か所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 2か所 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罠設置 2,000か所 ・ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 5地区
2	実績（成果）	<p>全国のツシマヤマネコ飼育動物園等でツシマヤマネコ普及啓発イベントを実施しました。また、ツシマウラボシシジミの保全区域としてワイヤーメッシュ柵で囲った保護区を設置しました。</p> <p>外来種対策では、ツマアカスズメバチ防除活動への参加を市民に呼びかけ、島内で広くトラップを設置するとともに、化学的防除手法を試行しました。</p>
評価	○	<p>【指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤーメッシュによるツシマウラボシシジミ保全区域 1か所 ・全国の動物園等における対馬の自然普及啓発事業 2か所開催 ・市民参加型ツマアカスズメバチ捕獲罠設置 2,300か所 ・ツマアカスズメバチ化学的防除手法の試行 17か所 <p>ツシマヤマネコ普及啓発イベントを実施したことで、全国に広くツシマヤマネコと対馬の自然の魅力をPRし、保護活動の輪を広げることができました。また、ツシマウラボシシジミ保護区を設置し食草・吸蜜植物等を植栽することで、好適な生息環境を整備することができました。</p> <p>特定外来生物ツマアカスズメバチの女王蜂を捕獲・駆除することで、夏以降に発生する巣を減らすことができました。</p>
4	今後の展開	<p>引き続きツシマヤマネコ啓発イベントを実施し、対馬の自然の魅力をPRすることで対馬ファンを増やし、保護活動の輪を広げていきます。</p> <p>また、外来種対策では環境省や研究機関と連携協力して、新たな防除手法の確立を目指し、効果的かつ順応的な防除を推進します。</p>

全体	17
個別	03-06

令和元年度〔観光交流商工部〕目標の成果

課名	博物館建設推進課
----	----------

区分	項目	対馬固有の遺跡や文化財の保存・活用
1	【内容】 1 対馬博物館（仮称）施設の整備推進を行います。 2 対馬博物館（仮称）の開館を見据え、博物館や対馬の文化財の魅力を市内外に発信します。 3 博物館開館準備のため、博物館に収蔵する資料の選定と整理を実施します。 【指標】 1 ① 既存施設の解体 ② 交流棟ゾーン建設工事の実施 ③ 博物館施設駐車場の整備 2 ① 対馬市ホームページやSNSを利用した情報の発信 ② 博物館に関するシンポジウム及び講演会の開催 各1回/年 3 ① 博物館収蔵資料の選定及び整理 ② 博物館資料収蔵計画の策定	
2	実績（成果）	1 対馬博物館施設の整備を推進し、博物館棟ゾーン建設工事及び展示工事等を実施しました。 ① 既存施設の解体：未着手 ② 交流棟ゾーン建設工事の実施：令和元年1月に契約締結 ③ 博物館施設駐車場の整備：令和2年2月に契約締結及び現在工事中 2 対馬博物館の開館に向けて、建設工事や博物館の取り組みについて情報を発信しました。 ① facebookを利用した情報の発信：6回/年 ② 博物館に関するシンポジウム及びワークショップの開催：2回/年 シンポジウム：来場者120人 ワークショップ：来場者99人 計219人 3 ① 対馬島内の資料館に置かれている資料の現状を調査しました。 ② 調査内容を元に博物館資料収蔵計画の策定の準備を進めています。
3	評価	△ 1 博物館棟ゾーン建設工事及び展示工事が作業員確保に時間を要したため工期延長となり、それに伴い交流棟ゾーンの建設工事が遅れています。令和2年度内には交流棟を含めた施設全体が完成する見込みです。 2 イベントはシンポジウムとワークショップを開催することで、対馬市の大人から子どもまでが対馬の歴史や文化に対する関心と理解を深めることのできるイベントづくりを心掛けました。また、facebookを活用することで、市内外の多くの方々に博物館の活動や成果を伝えることができました。 3 資料の調査をもとに輸送の準備計画を進めている他、歴史民俗資料館から市に譲渡された資料の収蔵庫への移転作業を完了させました。 博物館資料収蔵計画の策定については、条例の制定と合わせて進めています。
4	今後の展開	○ 博物館完成に向け、引き続き建設工事を進めていきます。 ○ 博物館開館を見据え、活動内容を具体的に決め、展示準備を進めていきます。 ○ 博物館開館準備のため、資料収蔵計画を策定して資料整理を実施します。 ○ 博物館周知のため、広報活動に一層努めます。